

守谷ボランティア NEWS

2025年8月号（毎月1日発行）



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL：<https://moriya-cac.org/>
開館時間：午前9時～午後5時（午後8時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

夏休みの課題「子ども新聞を作ろう」作品募集

「子ども新聞」は今年度で14回目を迎えます。昨年度は194点の作品が集まりました。

聞いたこと、調べたことを記事にまとめて新聞を作ってみよう！

- 対象 市内小学生（4年～6年）
- 申込期限 9月2日（火）
- 主催・問合先 市民活動支援センター
✉ supportcenter@moriya-cac.org



センターHP



●提出方法 1人1作品（①か②どちらかで提出）

※個人情報保護の関係で表面に氏名を入れないでください。

市民活動支援センターのホームページで紹介している過去の作品を参考にしてください。

①紙で提出：画用紙四ツ切サイズ

裏面に、学校名・学年・組・氏名（ふりがな）を書いて、夏休み終了後、学校に提出（市立小学校以外は市民活動支援センター窓口に提出）

②データで提出：A3サイズ以内

PDFファイルに変換したデータを、市民活動支援センターにメール（タイトルに「子ども新聞」、本文に学校名・学年・組・氏名（ふりがな）を入力して）提出

【講座】おしゃべりメイク会～シニア世代から自分磨き！～

年齢を重ねて変化するお肌の状態や各自の個性に合ったメイクをお伝えします。楽しくおしゃべりしながら、ご自身がお持ちのメイク道具で素敵に変身して、キラキラ輝く姿を写真におさめましょう。

- 日時 ①9月13日（土）10:00～13:00 メイク講座
②9月20日（土）10:00～13:00 撮影会
- ※①回目はノーメイク、②回目はメイクをしてお越しください。
- 定員 20人（2回とも参加できる方優先）
- 持ち物 化粧品、大きい卓上鏡、フェイスタオル2枚 髪留め（ピン）
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 申込方法 8月17日（日）～9月1日（月）までにQRコードから申し込む
- 講師 尾形直美氏（ケアビューティーマスター）佐藤正子氏（資生堂化粧セラピスト）
- 主催・問合先 市民活動支援センター



おもちゃの修理体験会

守谷おもちゃ病院のドクターと一緒に壊れたおもちゃの分解・修理・組み立てを体験してみませんか。

※ボランティア証明書を発行します。

- 日時 8月21日（木）10:00～12:00
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 講師 守谷おもちゃ病院ドクター
- 対象 小学3年～6年生
- 定員 先着5人
- 持ち物 特になし
- 申込方法 市民活動支援センター窓口
または電話で申し込む
- 問合先 市民活動支援センター ☎ 46-3370



登録団体活動情報 8月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合先
楊名時太極拳守谷同好会ボランティア部	みづき野中央公園（雨天中止）	毎週火曜日 10:00～11:30	市民活動支援センター
	守谷中学校	第1月曜日 10:00～11:00	
フォトクラブ写遊 写真展、撮影会の開催	中央公民館	第4土曜日 9:00～16:00	金澤 080-5508-6081

助成金情報 *内容は変更になる場合があります。
各HPをご確認ください。

地域活動・まちづくり ~8/24 2025年スマセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム
公益財団法人 住友生命健康財団
<https://skzaidan.or.jp/>

社会教育 ~9/1 2026年度 重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成
公益財団法人ベネッセ子ども基金
<https://skzaidan.or.jp/>

社会教育 ~9/7 子ども・地域おうえんファンド
セーブ・ザ・チルドレン
<https://savechildren.or.jp/>

豆コラ

博報堂生活総合研究所が行った「生活寿命」に関する調査が注目を集めています。「生活寿命」とは、実年齢に関係なく、ある行動を「もうできない」「したくない」と感じて控えるようになる年齢を指します。たとえば、深酒を避けたくなる「深酒寿命」は42歳3ヶ月、バーミングを楽しめなくなるのは45歳2ヶ月、誕生日を祝わなくなるのは48歳7ヶ月。信号を急いで渡るのをためらう「信号ダッシュ寿命」は50歳、カギの記憶があいまいになるのは56歳2ヶ月、薬を飲んだか忘れるのは65歳2ヶ月という結果でした。「寿命」は生きられる年数、「健康寿命」は介護不要で生活できる期間を示すのに対し、「生活寿命」は体の状態だけでなく、心の変化や生活環境、人間関係なども影響する新たな指標です。生活寿命は自分の意識次第で伸ばすことができ、年齢にとらわれず、自分らしく生きる姿勢が大切だと考えます。



こんにちは！守谷のボランティアさん

【Anne's garden】

体験会 リメイク鉢を作って多肉を植えてみよう!!

2025年6月17日(火)・18日(水) @市民活動支援センター会議室

「ジャンク☆アンティークな風合いの塗料を使って、リメイク鉢を作ろう」をテーマにした体験会が開催されました。

Anne's garden（アンズ ガーデン）さんは、昨年12月に立ち上げたばかりの団体です。初めての体験会に、緊張している様子の代表（先生）菱川さんでしたが、興味津々でワクワクしている生徒さんの様子に、すぐに緊張も解けたようです。

菱川さんは、守谷駅の西口駅前広場で毎月第1日曜に開催されている「もりや朝市」など、様々なイベントに参加しています。物作りを通して、仲間作り、幸福感の共感度をあげたいという思いで体験会を企画しました。



前半は、水彩アクリル塗料を鉢に塗っていく作業です。樹脂タイプのテクスチャペイントを使用するとジャンク☆アンティーク モルタル風、漆喰風に仕上がるそうです。ジャンク☆アンティーク風とは、新品でありますながら、意図的に古びた、ガラクタのような雰囲気や使い込まれたような風合いを持つデザインです。

塗り方のこつは、薄く何度も重ね塗り！ 単色よりも2~3色を使い、最後に汚し加工をすることで、よりアンティークな仕上がりになります。



今回は、乾燥時間を短縮するために、塗料を塗った後、ドライヤーを使用してステンシルシートを使った作業へ移ります。

ステンシルとは、文字や絵柄を切り抜いた型紙を使い、上から塗料を塗ることで、その形を転写する技法です。

様々な文字や絵柄を切り抜いたステンシルシートは、100円ショップやホームセンターなどで購入でき、自分で作ることも可能とのこと。

後半は、生徒さんが素敵にリメイクした鉢に、多肉植物の寄せ植えです。



隙間なくぎゅっと詰めて植えていくと、上手に可愛い仕上があります。生徒さんからは高低差のバランス、挿し方が簡単なようで難しいとの声が多数ありました。しかし、菱川さんのひと手間が加わると、更に可愛く見えるのが不思議!!

参加された皆さん、作品作りを通して、すぐに打ち解け共通の話題で盛り上がっている様子を見て、理想通りの体験会となったことが実感できました。

多肉植物は、春と秋が比較的育てやすく、直射日光を避け、日当たりの良い屋外の場所に置くのがベストです。



菱川さんが今後の意気込みを語ってくれました！

今回は時間がなかったこともあり、下地までの工程を省いてしまいましたが、次回は、下地の工程から体験できる2日間コースの講座を開催していきたいとのことです。

また、デコパージュ等を利用したリメイク缶の講座の開催も検討しているとのことでした。

今後も、魅力的な講座を楽しみにしています。

ありがとうございました。